

発売中
100円

憲法9条を変えて、

「戦争する自衛隊」にして

いいのですか(憲法会議・発行)

消費増税の中止を求める請願を提出

12月議会
4日～21日

日隈、大谷両市議の一般質問は11日

12月議会が4日に開会。日田民商ほか3団体から「消費税10%引上げの中止およびインボイス制度の撤廃を求める請願」が提出されました。一般質問は、11日に日隈、大谷両市議が行います。

12月議会は、4日から21日まで行われます。市長は4日、条例議案、補正予算案を提案しました。

大谷市議が、消費税増税の中止を求める請願を提案説明しました。

また、JR日田彦山線の早期復旧と長期的な運行の確保を求める決議が全会一致で決まりました。

一般質問は、11日から始まりです。日隈知重市議が11日、午前10時から、大谷敏彰市議が午後2時から行います。

日隈市議は、①第三セクター(株)トライ・ウッドの経営と業務②ゴミ・し尿収集業務における労働環境③すい臓がんの早期発

見に役立つエコー検査について質問します。

(株)トライ・ウッドは、木材の付加価値を高めることと、山間地での雇用場をつくるため28年前に上津江村で創業されました。資本金は4億540万円で、そのうち3億8千万円を日田市が出資しています。

日隈市議は、(1)製材品の海外輸出をやめた理由は何か、(2)なぜ韓国を取引業者に示談金750万円を支払うことになったのか、(3)労働者の安定的な確保を図るため、賃金など労働条件の整備を行っているかをたてします。



▲ 一般質問のようす(写真は昨年3月議会)

参院選、統一地方選挙勝利へ

日本共産党
後援会総会



▲総会で紹介される統一地方選挙の予定候補者(日隈市議は右から3番目、大谷市議は4番目)

市議選で3議席復活めざす

大分県日本共産党後援会総会が11月25日、大分県社会福祉会館で開催されました。来年の統一地方選挙候補者が前に並んで、後援会員の声援にこたえました。

大分県日本共産党後援会の佐藤秀樹会長は、「ウソ、隠ぺい、差別、強権の安倍政治を一日も早く早く終わらせるため、参院選、統一地方選挙勝利へ、活気ある後援会活動をしよう」とあいさつしました。

大谷敏彰市議、日隈知重市議ら予定候補者が紹介されました。

来年の日田市議選は、4月14日告示、21日投票で行われます。日本共産党は、学校給食費の無償化や年金で入る介護施設の増設などの公約をかけた、大谷、日隈両市議と新人候補を立てて、3議席復活に挑戦します。

県日本共産党後援会2019年総会



▶開会あいさつする佐藤会長